

境港出雲道路の今後の進め方（案）に対する市の意見について

境港出雲道路の整備に向け、令和 7 年 6 月に国・県・松江市・出雲市により境港出雲道路整備計画検討会が設立され、8 月に出雲市民、松江市民や関係団体を対象に道路交通課題に関する意識調査が行われたところです。令和 8 年 2 月 2 4 日には、第 2 回検討会が開催され、この意識調査の結果などをもとに境港出雲道路の優先区間の選定など「境港出雲道路の今後の進め方(案)」が取りまとめられたところです。

このたび、島根県から松江市・出雲市に対して、この検討案に関する意見照会がありましたので、下記のとおり回答します。

記

1. 回答内容

境港出雲道路の今後の進め方（案）について、産業面、防災面、観光面から総合的に勘案した結果、妥当である。

境港出雲道路は、中海・宍道湖圏域の産業・物流・観光の振興及び住民の安全・安心なまちづくりにおけるエッセンシャルネットワークであるため、島根県が中心となり、関係自治体と一丸となった早期事業化の取組を進めていただくよう強く願います。

2. 回答文書

別紙のとおり

3. 境港出雲道路の今後の進め方（案）

別紙のとおり

4. 参考

松江北道路の進捗状況（令和 7 年 5 月 松江北道路だより）

建 企 第 号

令和 8 年 3 月 2 6 日

(案)

島根県知事 丸山 達也 様

出雲市長 飯 塚 俊 之
(都市建設部建設企画課)

境港出雲道路の今後の進め方(案)に対する意見について(回答)

このことについて、令和8年2月24日付け、高推第39号で依頼のありました境港出雲道路の今後の進め方(案)に係る意見照会について、下記のとおり回答します。

記

境港出雲道路の今後の進め方(案)について、産業面、防災面、観光面から総合的に勘案した結果、妥当である。

境港出雲道路は、中海・宍道湖圏域の産業・物流・観光の振興及び住民の安全・安心なまちづくりにおけるエッセンシャルネットワークであるため、島根県が中心となり、関係自治体と一丸となった早期事業化の取組を進めていただくよう強く願います。

- 出雲西部のうち、特に課題の集中している区間について、優先区間とし、概略ルート・構造の検討を実施。
- その他の区間は、求められる機能の確保に向け、今後、最適な計画の検討を実施。

■ 優先区間の設定(STEP①)

【評価区間】

青字：事業中




項目	出雲西部	出雲北部	穴道湖沿岸部	松江市中心部	中海沿岸部
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・特に課題の集中している区間について、優先区間とし、今後、概略ルート・構造の検討を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・求められる機能の確保に向け、今後、最適な計画の検討を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・求められる機能の確保に向け、今後、最適な計画の検討を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、松江北道路の事業を推進(東側から段階的に整備を進める) 	<ul style="list-style-type: none"> ・求められる機能の確保に向け、今後、最適な計画の検討を実施。



境港出雲道路整備計画検討会まとめ（案）

政策目標（地域の意見聴取を踏まえた、境港出雲道路に求められる機能）

- 産業の活性化
- 広域周遊 観光の促進
- 信頼性の高い ネットワークの確保
- 救急医療機関への 速達性の向上
- 交通安全の確保

凡例

- 24時間交通量(上下計)
- : 主要渋滞箇所
- : 速度低下区間
- ★: 死亡事故 ☆: 重傷事故
- 道路構造
- ▲: 平面線形不良箇所(R<150m)
- 用途地域 (住居・商業・工業地域)
- 青字 事業中
- 青字 調査中

【交通量】令和3年度全国道路・街路交通情勢調査、【主要渋滞箇所】国交省HP、【道路構造】鳥根県HP、【事故】イタルデータ(R1~R4)、【速度低下区間】ETC2.0プローブデータ R7/6月平日



① 主要渋滞箇所や速度低下、重傷事故、災害による通行止めなどの課題。特に出雲市街地に重要な課題が集中。



③ 大雨による道路冠水
＜国道431号＞ 至：出雲中心部



④ 市街地の速度低下、重傷事故、線形不良、災害による通行止めなどの課題



⑤ 主要渋滞箇所や速度低下、重傷事故、線形不良といった課題が松江市街地に集中



⑥ 線形不良が連続などの課題



特に課題の集中している区間について、優先区間とし、今後、概略ルート・構造の検討を実施。

求められる機能の確保に向け、今後、最適な計画の検討を実施。

引き続き、松江北道路の事業を推進

求められる機能の確保に向け、今後、最適な計画の検討を実施。

令和7年度 松江北道路だより

令和7年5月

島根県 松江北道路建設事務所

SHIMANE SOUSEI Eng

第20号

・松江北道路は、早期に整備効果を発揮するため、松江だんだん道路に接続する川津インターチェンジから西側に向けて段階的に整備します。

・昨年度に引き続き、各工区において調査・設計等を進めるとともに、事業用地取得に向けた補償内容の説明を、川津・持田工区において優先的に実施します。

・今年度から、新たに川津インターチェンジ付近において、松江北道路本線工事に向けての準備工事に着手します。

令和7年度事業内容

川津IC側（東側）から西側に向けて段階的に整備を進めます



松江北道路 L = 10.5 km

地域の皆様へ説明し、話し合いを行いながら事業を進めてまいります。

測量・調査

予備設計

用地測量・調査
(地籍調査)

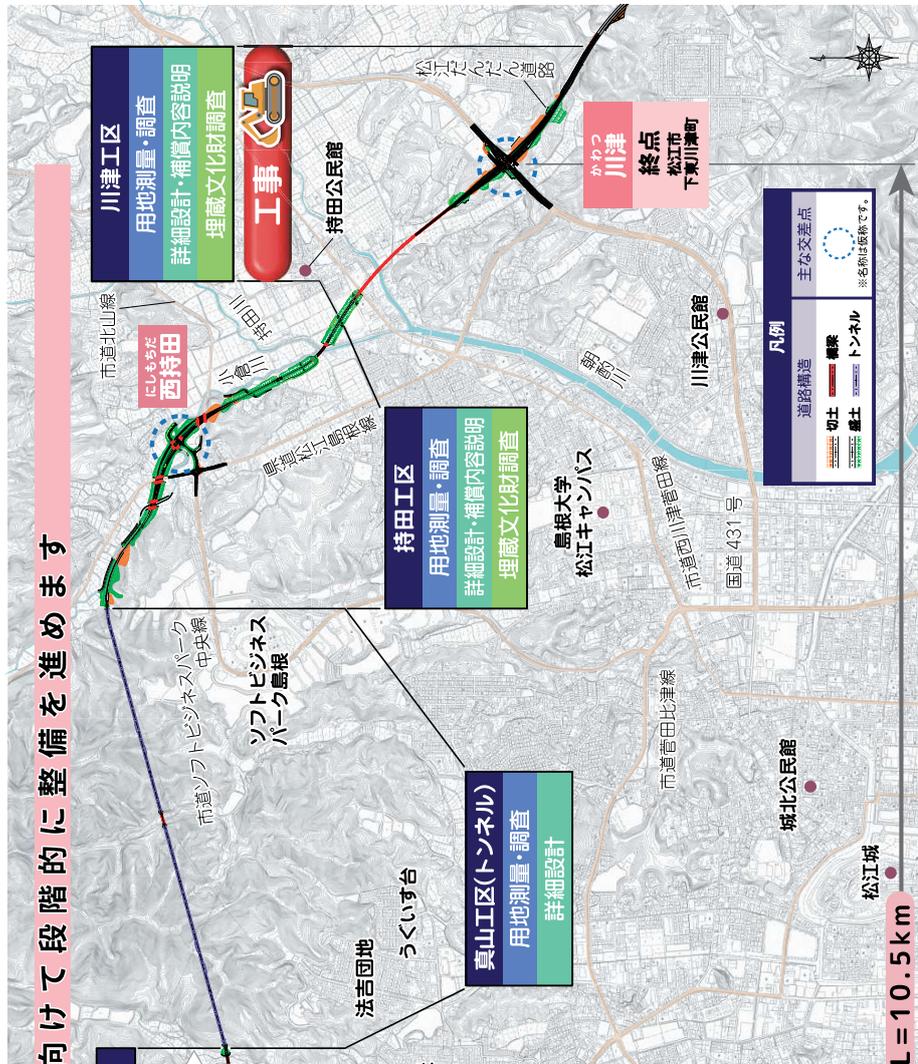
詳細設計・補償内容説明

埋蔵文化財調査

用地測量・調査
詳細設計・補償内容説明
埋蔵文化財調査

工事

完成・供用開始



お問合せ先

■ 島根県 松江北側整備事務所 松江北道路建設室
☎ 0852-32-5748 matsuekitadouro@pref.shimane.lg.jp

■ 松江市 都市整備部 大橋川治水・国県事業推進課
☎ 0852-55-5385 ohashi@city.matsue.lg.jp

各工区は、島根県ホームページに掲載しています。

松江北道路 検索

QRコード

各工区は、島根県ホームページに掲載しています。

松江北道路 検索

境港出雲道路の一部を構成するとともに、松江市街地の外環状道路を形成するため、通過交通の転換・分散による市街地の渋滞緩和、災害時の代替路の確保や山陰道へのアクセス向上等の整備効果が期待できます。

松江北道路の整備効果